

《第79回》令和元年十月の作品

〈十月十一日（金）於・文京シビックセンター5D〉

骨酒のあとの岩魚のやはらかし
（平六）

秋の陽や石垣厚き御城門
（正佳）

天高しラグビーにみな盛上る
（孝昭）

百歳の祝ひ届きし敬老日
（清助）

海が堀秋の指月の萩城址
（奉男）

托鉢僧色なき風をまとひ立つ
（一江）

佐渡おけさ踊る背中に秋の風
（貴美）

柿たわわはるか浅間に煙立ち
（隆治）

秋燕の影滑りゆく山の肌
（前歩）

庭園の苔うつくしや秋澄めり
（芙沙）

同窓の友と会ふたび秋思あり
（正雄）